

【生徒】自由記述欄

Q6 (10) その他、ご意見、ご感想などをお書きください。

・台湾の高校生や大学生との交流で、英語によるコミュニケーションに対する抵抗が少なくなったことが良かった。B&Sで台湾の歴史的建造物や名所を知ることができたのが良かった。国探だけでなく理探にも屋台を巡る時間をつくってほしい。(2) 良い経験になると思う。自主研修の時間を増やしてほしい。(3)

・外国通貨との両替は体験していても良かったと思う。また、狙いを定めた研修にすればよかったと思う。なまじ日本語が通じてしまうので、英語圏の国への研修や、道中の日本語を制限する等、海外での力をつけるなら上記のことだろうか。理科の力をつけたいのであれば、もっと高校生との時間をもって会話を続けたほうが良かった。まとめると、要点を一つにして、そこをきたえなければいけないということです。あとは先輩からのアドバイスブックを作ると良いと思いました。最後に説明を早く下さい、準備が後手になってしまいます。

・コミュニケーションする人としらない人で分かれてしまい、練習にならなかった。

・台湾の学生と交流することによって、自身のコミュカルの低さをとても実感できたのでリスニング力を高めることでコミュニケーションをもっと円滑に進められるようにしたい。

・全体を通し、詳しいことが不明瞭なまま事が進んでおり、十分な学習効用を発揮していなかった。

① 交通渋滞等があり、時間がなかったことは理解しているが、それを差し引いても何のために行ったのかがよく分からなかった。大学を訪問するならば、その大学で行われている有名な研究等の見学を全員が十分にできるようにする必要があると思う。

② 科学探索館:説明で全てが終わってしまった。自分が見たいものに時間をさげず満足できなかった。説明を省き、自由度を上げた方が良いと思う。

③ 附中:体験授業のレベルが興譲館に合っていなかったと思う。(2) もう少しレベルの高い取り組みを希望する。

空港等では詳細な説明なしに生徒が放置となっている場面もあり、不安感を抱く人も多かったと思う。

・師範大学附属高級中学の人との交流時間があっという間で短く感じたので、もっと多めに時間をとってほしい。

・自主研修によって、新たな知識や考え方を得られたので、続けてほしい。

・ホテルがきれいだった←とても良かった。(4)

・事前の、研修についての説明をもっと早めに具体的に欲しかった。(6)

・しおりの配布をもっと早くしてほしかった。(6) 情報の共有も早くしてほしかった。微妙な時間の弁当配付を削ってほしい。

・研究発表の時間が10分間だと思っていたが15分間もあった。

・B&S(現地大学生との交流)では、女子だけの班には、絶対女子大生がついてほしい。(2) 日本人がいてほしい。

・ご飯は行くところを最初から決めておいたほうがよい(都会が良いと思う。)

・探索館はみんなと同じ案内を聞くより、聞きたい場所でそれぞれ聞くべきだと思う。(自由行動)(3)

・バディと授業が受けれたのはよかった。サポートしてくれるし楽しかった。

・初めて海外に行って、自分の英語力のなさを痛感しました。特に聞き取りが難しく、会話がスムーズにいかないことが多かったので、もっと学習したいと思った。

- ・英語でのプレゼンはまだ気づいていなかった視点に気づけたり、質問に答えることで英語での言語化の練習にもなってとてもよい機会だと思った。
- ・バディの名前とかの情報を前もって伝えてほしかった。
- ・附中で校歌を歌うとか、開会式の流れを事前に 興譲館生にも伝えておいた方が良い。
- ・初日と最後の日(飛行機に乗った日)にバスと飛行機の両方でご飯が出たので1日4食になるから、飛行機の機内食だけで良い。ミンミンがかわいくて分かりやすく良かった!!
- ・海外の方と話す機会をつくれたことは良かった。バディによってもコミュニケーションに大きな差が出てしまう。(性格など)
- ・同年代の人と交流する経験ができて良かった。自由時間が少なく、行きたかった場所に行けなかったなのでそこを改善してほしい。
- ・今回の研修を通して、初めて海外にいき、緊張もあったが、楽しい研修になった。しかし、日本と台湾の生活の違いもあったので、もう少し調べ学習があってもいいと思った。海外の人と交流する機会がめったにないのでこの取り組みはいいと思った。
- ・附中との交流は、同じ高校生として、英語力の低さを実感したり、プレゼンの発表がとても刺激的で、いい経験になった。B&S では、私たちの班の大学生は日本人であったため、台湾の生活や、文化について詳しく聞ける機会になってよかった。最終日にこの機会があったので、台湾研修で疑問をもったことなどもきけたのでよかった。
- ・理科、数学系の教科を英語で授業を行う時間をつくれれば、科学技術関連の英語の語彙がふえるのかなと思った。
- ・事前から附中の人たちとの交流できる場があると、もっと外国人とのつながりが強くなるだろうと思う。
- ・思っていた以上に英語で話すのが難しかった。もっと理探にも英会話の時間をつくってからの方が良かったと思う。
- ・附中生との英語能力の差が著しかった。発音が正しくないとそれだけで伝わらなかつたりするので、もっと先生と対話したりする時間が欲しいと思った。
- ・海外に連絡できる友達ができるのが最大の成果。
- ・5日間という短い時間だったが、様々な人と交流し、充実した時間を過ごせた。今後の人生にもつながる良い研修となった。
- ・B&S の取り組みは自分たちが行動して決めたり、すごくいい経験でした。
- ・B&S のお金の面であらかじめ費用から差し引いておいて、後でレシートを元に払うようにするなどしたほうが良いと思う。大学生の前でお金のやり取りを見せるのはあまり良い気にならないから。
- ・附中との交流は英語での発表、コミュニケーションの経験として、とてもためになったと思う。(2)また海外の高校生の研究レベルも知ることができた。
- ・新竹科学探索館での見学は、科学に関する説明というより、こんなものがあるという紹介のように感じた。そこまで時間を取らなくていいと思う (3)
- ・附中交流について、バディとフリートークを行える時間が、昼食休憩より前のどこかの段階で10分程度あれば、昼食休憩時の会話も弾みやすいのではないかと感じた。
- ・今回の研修では、学生とのコミュニケーションの時間を多くとってくれる日程だったおかげで、自分のコミュニケーション能力がアップしたと思う。活動は本当に充実していた。日本語、英語 問わず、

コミュニケーション能力の向上には最適なプログラムだと思う。

・どの現地の学生さんとの交流でも自己紹介の時間が無くて、話しかけるダイニングや仕方がつかめなかったのも、全体でそのような時間をとったほうが良いと思った。また、ぶっつけ本番ではなくて、どんな話題を話すかある程度決めていったほうが、話しかけやすいと思った。

・初の海外ということで、飛行機や言語についての漠然とした不安がありましたが、チャレンジするという意志で学生との交流をし、慣れることができました。

・台湾の人たちと話す機会は多くあったが、初対面の相手にすぐに話しかけるのは少し難しかったのでアイスブレイクなどあればもっと話しやすかったと思う。

・台湾の人の名前がうまく聞きとれず、相手の呼び方が分からなかったのも、先に知れるようにしてほしい。

・附中での高校生との交流は、楽しかったし、多くの学びがあり、とてもよかった。ただ、探索館での研修は、ガイドの方による日本語の詳しい説明があったのはよかったものの、すべての展示を見ることができなかったため、それぞれの興味に合わせて自由に見学できる時間があってもよかったのではないかなと思う。

・英語でのプレゼンテーションは自分の研究に関わる英語の語彙を身につけ、暗記ではなく、自分の言葉を使って発表できるようにしていれば、質問にも柔軟に回答できたと思った。

・附中での発表で、自分の英語で相手に上手く伝わらないことが多く、話せるだけでなく、伝わる英語が使えるようになることが大切だと感じた。

・ご飯の量が多かったのもう一品少なくともよかった。

・外国の高校生と交流をして、英語を話す力がまだまだだなと実感し、もっと勉強しようという刺激になった。

・台北 101 や新竹科学探索館などに行くことで 海外の技術を知れたことがよかったと思う。